

# SAI

SAI

INSTRUCTION



# SAI

## INSTRUCTION

スピーカー SAI  
取扱説明書

INDEX	PAGE
1. はじめに	1
2. 同梱品	2
3. SAI の使い方	2
4. アンプとの接続方法	2
5. 使用方法・メンテナンス	4
6. セッティング	4
7. 故障と思う場合の確認事項	5
8. 保証とアフターサービス	6
9. 主な仕様	6

### 1. はじめに

このたびは、スピーカー SAI をご購入いただき、誠にありがとうございます。

SAI は、現代人の自由な感覚にあふれた音楽ライフにフィットするスピーカーとして誕生しました。

ひとつから2台3台と好きなだけ増やして使える拡張性。多種多様なライフスタイルに対応するシンプルなデザイン。オーディオスピーカーとしても使える本格的なサウンド。壁・天井への取り付けや各種スタンドに対応する自由度の高い設置性。固定概念をすこしアップデートして SAI を日常生活の「遊び道具」として使ってみてください。

あなたの日常が音楽の力で少し生き生きと変化するようであれば、何よりの喜びです。

SAI をどうぞよろしくお願い致します。

## 2. 同梱品

- ・スピーカー本体 ×1
- ・OWNER'S CERTIFICATE ×1
- ・SAI INSTRUCTION ×1 (本冊子)

## 3. SAI の使い方

SAI で音を出すには、別途アンプとスピーカーケーブルが必要です。スマートフォン、タブレット、パソコン、CDプレーヤーなどをアンプに接続すると音楽を聴くことができます。

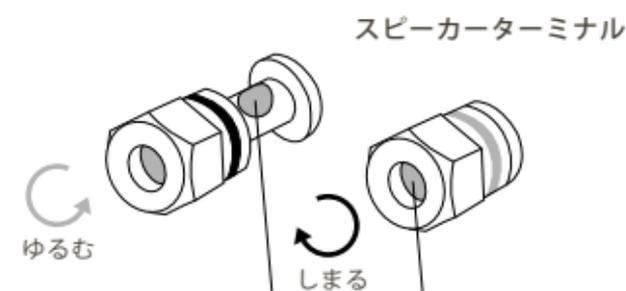
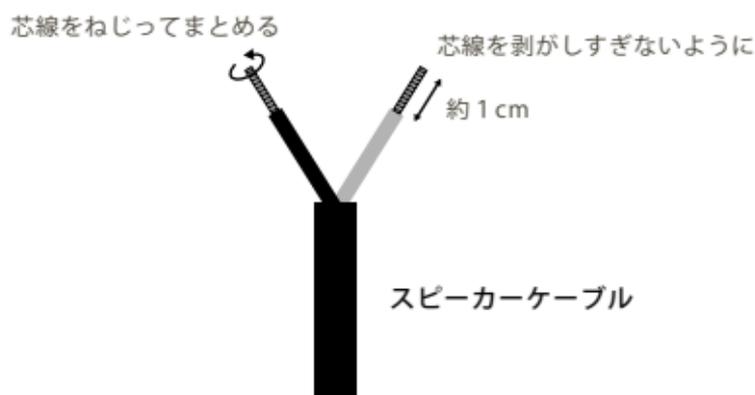
SAI の詳しい使い方は、ウェブサイトの「HOW TO USE SAI」ページをご覧ください。  
[www.hora-audio.jp/how-to-use-sai.html](http://www.hora-audio.jp/how-to-use-sai.html)



## 4. アンプとの接続方法

### [ 注意事項 ]

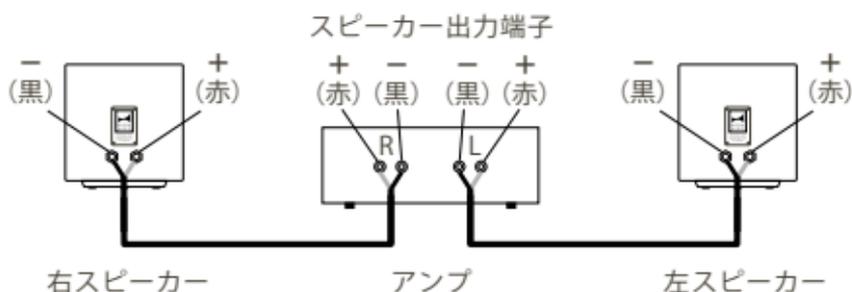
- ・SAI のインピーダンスは  $4\Omega$  (オーム) です。ご使用予定のアンプが適応しているか、ご確認ください。(通常のアンプは対応しておりますが、一部のアンプで動作保証がない製品があります。) ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。
- ・スピーカーケーブルの被覆を剥がした芯線部分が確実にスピーカーターミナルにしっかり固定されていることをご確認ください。  
スピーカーターミナルは、バナナプラグにも対応しています。太い芯線のケーブルを使用する場合や頻繁にケーブルの取り外しをする場合にご使用下さい。
- ・スピーカーケーブルの+と-は、ケーブルの配色の違いやケーブルに入ったマークで区別して下さい。+と-を間違えて接続した場合、「逆相」という接続になり、不自然な音が発生しますのでご注意ください。



[スピーカーケーブル用差込穴]  
芯線を穴の下から上に入れた状態で  
ターミナルをしっかりと締め込む。  
被覆部分ははさみ込まないこと。

[バナナプラグ用差込穴]  
使用する場合は、ターミナル  
を締めた状態で差し込む。

- 2台の SAI でステレオ再生する場合は、2本のスピーカーケーブルを用意し、アンプのスピーカー出力端子の R を右スピーカーに、L を左スピーカーに接続してください。アンプの L・R には、それぞれ+ (赤) と- (黒) の2つの端子があります。スピーカー背面にあるスピーカーターミナルの黒いマークの入った左側をアンプ- (黒) に、赤いマークの入った右側をアンプ+ (赤) に確実に接続して下さい。



## 5. 使用方法・メンテナンス

長期間スピーカーを良い状態で使用するには、正しい知識に基づいて丁寧に扱うことが大切です。

### [使用方法と注意事項]

- ・音を最初に出す際は、アンプのボリュームがゼロになっているかを確認後、電源を入れ、音源を再生し、ボリュームを徐々にお好みの音量まで上げて下さい。過度にボリュームが上がった状態で音源を再生するとスピーカユニットが故障する恐れがあります。
- ・アンプの電源を切る際は、ボリュームをゼロまで下げた状態で行って下さい。
- ・音が割れたり、ノイズが発生したら、ボリュームの上げ過ぎです。ただちに音量を下げ調整して下さい。
- ・大音量でのリスニングは聴力への悪い影響や近隣の苦情等につながります。適切な音量で音楽をお楽しみ下さい。
- ・繊細なチューニングがされておりますので、スピーカーを分解・改造しないようにして下さい。

### [メンテナンス]

- ・本体についた埃や汚れは、乾いた布や刷毛で丁寧に取り除いて下さい。強い汚れがついた場合は、水に濡らした布を固く絞ってから拭いて下さい。ナチュラル仕上げは、定期的に天然の蜜蝋ワックスを塗ると長期間に渡って良い状態を保つことができます。詳しいメンテナンス方法は、HORA AUDIO までお問い合わせ下さい。

## 6. セッティング

置き方の条件によって空間に再生されるスピーカーの音は変化します。次の注意事項と「HOW TO USE SAI」ページの設置例を参考にベストな SAI のセッティングを探してみてください。

## [ セッティングに関する注意事項 ]

- ・ 直射日光、冷暖房機器・電化製品の熱等の影響を受ける場所、湿度の高い場所や埃の多い場所は避けて下さい。
- ・ 強い電磁波や電波を発生する機器の側に設置しないようにして下さい。
- ・ 安定性の悪い物の上にスピーカーを設置すると、スピーカーの転落や余分な音の発生の原因ともなります。外部振動を受けないしっかりとした水平な場所に設置して下さい。
- ・ カーペット等の柔らかい物の上にスピーカーを置くと不安定になり、音に悪い影響がありますので、避けて下さい。
- ・ 複数のスピーカーを近づけ過ぎると音が干渉し合います。適度に間隔をあけて置いて下さい。

## 7. 故障と思う場合の確認事項

SAI は繊細な音を素直に再生します。アンプやプレーヤーなどの再生装置、音源が発する微小なノイズも音となって聞こえることがあります。これはスピーカーの故障ではありません。異常音を感じた場合は、何が原因かチェックしてください。ヘッドフォンやイヤホンを使用してアンプやプレーヤーの音を聞くと判断が容易になります。

症状	チェック項目
音が鳴らない	アンプの電源 / ボリューム / 入力切替 スピーカーケーブルの接続 音源・プレーヤーの再生 / 機器の接続
割れた音が聞こえる	ボリュームの上げ過ぎ 音源・プレーヤーの出力レベルが高い
ノイズが聞こえる	アンプ・プレーヤー・音源の確認 ケーブルの接続や断線 ボリューム・スイッチ等の接触不良 電源・照明器具・その他電気器具の影響

上記項目をチェックした結果、原因が特定出来ない場合は、HORA AUDIO までお問い合わせ下さい。

## 8. 保証とアフターサービス

- ・保証期間は、OWNER'S CERTIFICATE 記載の販売年月日より1年間です。  
長い間安心してお使い頂けるよう、保証期間後も修理やメンテナンスに対応致しますので、お気軽にご相談下さい。
- ・お客様の過失による不適切な取り扱い・不注意により生じた故障・破損は、保証期間内でも有償でのサービス対応になります。くれぐれも取り扱いにご注意下さい。
- ・サービスを受ける際は、OWNER'S CERTIFICATE が必要です。  
大切に保管して下さい。また製品の輸送のため、出来るだけダンボール・梱包材の保管をお勧め致します。
- ・サービスのご依頼・製品の使用に関するご質問等は、HORA AUDIO までお問い合わせ下さい。

[ お問い合わせ先 ]

HORA AUDIO | ホラオーディオ

〒521-1123 滋賀県彦根市肥田町 400

TEL/FAX: 0749-43-3090 MAIL: info@hora-audio.jp

## 9. 主な仕様

製品名：SAI (サイ)

型式：1 ウェイ バスレフ スピーカー

使用ドライバー・ユニット：6.5 センチ フルレンジユニット

周波数特性：80Hz ~ 20kHz

インピーダンス：4Ω

定格入力：30W

最大入力：60W

出力音圧レベル：85dB

入力端子：バナナプラグ対応スピーカー端子

寸法：W 145 × H 152 × D 145mm (本体木部のみ)

W 145 × H 154 × D 162mm (入力端子、インシュレーター含む)

重量：約 1.2kg (1 台)

木材：オーク単板、ラワンプライウッド

仕上げ：ワックス (ナチュラル) / ウレタン塗装 (カラーモデル)

生産国：日本 製造・発売元：HORA AUDIO

Copyright ©2021 HORA AUDIO All Rights Reserved.



**HORA AUDIO**

**400 HIDACHO HIKONE SHIGA JAPAN**

**TEL. 0749-43-3090 [info@hora-audio.jp](mailto:info@hora-audio.jp)**

**[www.hora-audio.jp](http://www.hora-audio.jp)**